

# 鹿児島島の海をきれいにしよう釣り大会

平成30年6月19日 水産技術開発センター

5月20日に鹿児島本港において、鹿児島本港一本釣り組合主催の標記釣り大会が開催されました。

遊漁者の海洋環境保全意識の向上を目的に、海上及び海辺のゴミを回収しないと計量ができないというルールのもと、参加者の方々は釣りを楽しみながら、ゴミの回収にも努めていました。

当センターは、釣獲されたマダイを対象に体長と重量を測定しました。今年は、65名の参加でマダイ69尾の釣果がありました。

また、集計の時間を利用し、「海上馴致による放流マダイの健苗性の向上」という題名で、マダイの種苗放流の効果向上を目的とした取り組みについて参加者の方々に紹介しました。



回収されたゴミ



マダイ測定状況

## 海上馴致による放流マダイの健苗性の向上

資源管理部 研究員 天野裕平

### 背景

マダイが恐れや警戒を示したときに発現する横臥行動を指標に、海上馴致試験を実施し、**簡易で効果的な健苗性向上の方法を検討する。**

### 方法

#### 海上馴致・横臥行動試験

- マダイの放流用種苗(平均全長88.1mm)を海面生簀(3.6m×3.6m×2.5m)5面に約2,000尾ずつ収容した。
- 試験区は馴致0日間を対照区とし、1, 3, 5, 7日間無給餌で飼育する試験区を設定した。
- 各生簀から無作為に20~30尾を10L容量のポリバケツに収容し、上部からビデオで撮影して横臥行動を判定した。



#### 海上馴致後の肥満度

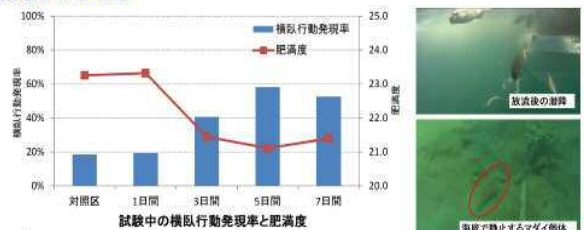
試験区ごとに30尾の尾又長、体重を測定し、肥満度を算出した。



#### 放流後の動向

- 横臥行動試験後、各試験区の個体を生簀より放流した。
- 放流直後の動向については、調査員が潜水し、ビデオで撮影した。

### 結果および考察



- 横臥行動発現率は、**馴致日数が長くなるにつれ、向上した。**
- 馴致3日間の種苗が放流後、**海底で静止している様子が確認された。**
- 馴致日数が長くなると**肥満度が低下し、種苗の活力低下が進行する。**

➡ 無給餌による海上馴致は、**3日間程度で健苗性の向上が期待される。**

## 健苗性向上の説明パネル